

授業科目 国際看護論演習

【担当教員名】 松井 由美子、目黒 優子		対象学年	2・3・4	対象学科	看護
		開講時期	前期・後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：GI0】 本科目は、国際的な視野で保健・医療・福祉における看護の役割を海外短期研修を通して考えることを目的としている。また、海外の文化を知り現地の方との交流などから、海外生活に必要な語学力を修得する。さらに、将来の活動への準備につなげていくことを期待している。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
(1) 海外の医療事情を理解し、看護の役割について説明できる。 (2) 国際的コミュニケーションの手段である英会話を学習し、積極的に使用する。 (3) 現地の方との交流を通して異文化を理解する。 (4) 自己の短期海外研修を振り返り、国際交流の視野で考えたことを報告する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	授業ガイダンス、LA研修の概要・スケジュールについて		担当：松井 由美子 他		
2	英会話レッスン、ボランティア活動計画立案	1、2	担当：松井 由美子 他		
3	英会話レッスン、ボランティア活動グループワーク、米国医療制度学習	1、2	担当：松井 由美子 他		
4	英会話レッスン、ボランティア活動グループワーク、米国医療制度学習	1、2	担当：松井 由美子 他		
5	英会話レッスン、ボランティア活動グループワーク、米国医療制度学習	1、2	担当：松井 由美子 他		
6	ボランティア活動グループワーク発表	1、2	担当：松井 由美子 他		
7	米国研修ガイダンス（業者）、米国研修オリエンテーション	1、2	担当：目黒 優子 他		
8	米国LA研修	1～3	担当：目黒 優子 他		
9	米国LA研修	1～3	担当：目黒 優子 他		
10	米国LA研修	1～3	担当：目黒 優子 他		
11	米国LA研修	1～3	担当：目黒 優子 他		
12	米国LA研修	1～3	担当：目黒 優子 他		
13	米国LA研修	1～3	担当：目黒 優子 他		
14	米国LA研修	1～3	担当：目黒 優子 他		
15	米国研修報告書の作成	4	担当：目黒 優子 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特に指定しない。			
参考書		国際看護・国際保健	丸井 英二編集、森口 弘文堂	2012・2,400円＋税	
その他の資料		ロサンゼルス研修に関する資料、旅行ガイド			
【評価方法】 ボランティア活動に関するグループワーク発表(50%程度)、研修報告書(50%程度)		【履修上の留意点】 短期海外研修の日程は、研修先と国際交流係との調整後に決定する。時期は大学休暇期間を利用する。学生は、海外研修費用として約40～42万円を準備する必要がある。また、学生海外留学助成金を申請することができる。			